



2020年5月1日

各位

会社名：株式会社省電舎ホールディングス
 代表者名：代表取締役社長 橋口 忠夫
 (コード番号：1711 東証第二部)
 問い合わせ先：取締役管理本部長 大浦 隆文
 (Tel:03-6821-0004)

特別損失の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）通期決算におきまして特別損失を計上するとともに、2019年11月11日発表「通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した2020年3月期の通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生

資産除去債務に関する会計基準の適用に伴い、当社グループが賃借する事務所等における賃貸借契約終了後の撤去及び原状回復に係る影響額として資産除去債務13百万円を特別損失として計上いたします。

2. 通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	2,460	△160	△165	△340	△80円91銭
今回修正予想 (B)	2,273	△167	△171	△359	△85円58銭
増減額 (B-A)	△187	△7	△6	△19	—
増減率 (%)	△7.6%	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2019年3月期)	1,280	△362	△399	△161	△56円80銭

3. 修正の理由

連結売上高は、前回予想を1億87百万円下回り22億73百万円となる見込みです。これは主に、長期にわたる業績低迷に伴う財政状態の悪化など当社の与信上の問題による失注が発生したことに加えて、新型コロナウイルス感染症の影響により当期中の売上計上を見込んでいた設備設置案件約1億円が、2021年3月期第1四半期に期ズレとなったことによるものであります。

連結営業損失は、前回予想を7百万円下回り1億67百万円、連結経常損失は、前回予想を6百万円下回り1億71百万円となる見込みです。これは主に、売上高の下振れによるものであります。

親会社株主に帰属する当期純損失は、前回予想を19百万円下回り3億59百万円となる見込みです。これは主に、経常損益が下振れしたことに加えて、「1. 特別損失の発生」のとおり資産除去債務13百万円を計上したことによるものであります。

※. 本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表時現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので予めご理解いただきますようお願い申し上げます。

以上